

千葉県社保協通信

2021年度 No.13 2021年 12月 21日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センタービル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

コロナ禍

**国の施策は全く不十分
困窮者に 今すぐ届く支援を**

「いのちと暮らしを守るなんでも実行委員会ちば」(構成団体/自由法曹団千葉支部・県労働弁護団・県民医連・千商連・千葉労連・千葉土建・自治労連県本部・県社保協他)は18日(土)午後、相談会を千葉駅東口にて行いました。23人が参加しテントを張り、寒風の中、案内チラシを配布。「コロナ禍で会社の倒産、雇い止め、シフトが減らされるなど一人で悩まず相談を」と呼びかけました。 -写真右左-

同日開催の「コロナ災害を乗り越えるなんでも電話相談会」をNHKが昼のニュースで報道。千葉会場(12時~18時)の2本の電話が開始と同時に鳴り、駅前と合わせ14件の相談が寄せられました。

障害者年金とパート合わせて月収17万円の50代男性は「子供のいる家庭だけでなく給付金を支給してほしい」「社会的孤立を防ぐ手立てをしてほしい」と訴えます。職を失い、税の滞納や家族関係の破綻など、社会的孤立が広がっていることが浮き彫りとなりました。生活保護利用を求めても、「まず家族で相談

いのちと暮らしを守るなんでも相談会実行委員会ちば



千葉会場(自治体福祉センター)では、弁護士・労働相談員など7人が電話相談に対応。

しなさい」などと「自助・互助」を迫られ、受け止めてもらえない実態ある中で、「『生活困窮者自立支援金』支給も全く不十分」など、国の施策を「評価しない」との声が多く寄せられました。

住民が 県庁で訴え **いのちまもる 東松戸病院 存続・充実を!!**

17日(金)午後、「松戸市立福祉医療センター東松戸病院及び梨香苑の存続を求める会」と「社会保障推進松戸市協議会」は、地元・東松戸地域の住民含め20名とともに県庁を訪れ、「松戸市立福祉医療センター東松戸病院及び梨香苑の存続を求める」知事あて要請書を手渡し担当課と懇談しました。

住民とともに要請書を手渡す「存続を求める会」松岡会長



ホントは本郷谷市長に聞いて欲しい!

▼松戸に2つ市立病院は要らない、簡単に(民間に)売って建替えれば良いと言う問題ではない。

▼梨香苑で朗読の会ボランティアをしているが、地域交流が素晴らしい。老朽化というが施設を大切にしたい。▼公立病院をなぜ民間にするのか?納税者として理解できない。▼住民と地域に根付いた病院が無くなるのは・・・▼緑の中で環境のいい病院。職員もみな存続を求めている。▼住民説明会で2つ市立病院が要らない、赤字だから要らないの話はない。市長は何回要請しても一度もあってくれないし説明も不十分。景観は素晴らしく敷地は広い、そこに順番に建替えて欲しい。千葉県は力を貸して欲しい・・・など参加した住民は次々に訴えました。

県担当課は、「梨香苑廃止は正式に松戸から相談はない」「回復期は東葛北部医療圏で今より増やす案あり調整する」「松戸市へ議会でしっかり説明するように、(住民の)皆さんへしっかり説明するように伝えてきた」「松戸市には皆さんの今日の話伝えていきたい」と話しました。